

## 課内回覧

# 財政通信 No. 13

平成 21 年 2 月

ご無沙汰しました。m(\_ \_)m 財政家長です。年度末を迎え業務多忙のおり、気候も春と冬が交互にやってくる状況ですから、体調管理には気を付けて下さい。

財政家では、最も大変で忙しい業務である「当初予算編成」が終わり、議会や報道機関への説明も終了しました。11 月から平成 21 年度の予算編成に追われ、家員一同全力で取り組みました。みんな本当にご苦労様でした。ちょっと一息です。・・・ですがすぐに議会です。つかの間の休息は短いなあ～\_ | \_ | O

私はといえば、予算査定原案の市長説明が終わったところで、体調に異変。なんだか熱が・・・まだまだ忙しいのにこれはイカン！と病院へダッシュ。すると・・・即検査、ドクターはあっさりドクター「インフルエンザですね。タミフルが効かない A 型ですから、リレンザを出しますね。」

家 長「あの～ちょっと今、仕事が忙しいもんで・・・何日ぐらいで治りますか？」

ドクター「5 日ですかね。3 日ぐらいで熱は下がるとは思いますけど、他の人に移りますから、家にいて下さい。家族の方も気を付けてくださいね。」

家 長「わかりました。(ToT) 外出禁止ですね。」

仕事では迷惑をかけますが、無理に出ていって感染源になるのはもっと迷惑。小さな子どもがいる家員もいるしなあ。家族にバイ菌扱いされながら、寝てるしかない。今日から5日間休むと次は、土日だから連続7日間休み。こんなに休むのは20数年ぶりだなあ。

でも、こんなんで休みたくない。\_ | \_ | O 休みの間は補佐以下家員が頑張ってくれて、なんとかスケジュールは守れました。感謝です。<(\_ )>

さて、今回の当初予算編成ですが、スタート時点での財源不足額(収支ギャップ)は 22 億 5 千万円。昨秋からの景気急減速により株価が大暴落。市の歳入も大暴落。悪い情報ばかり・・・聞きたくない((+\_+)) 特に企業業績の悪化を受けて、法人関係の収入が大きく落ち込んだ要求でした。もちろん、財政健全化の効果や取り組みは確実に反映されていましたが、歳入の減少をカバーするには至らず、財源不足額が拡大しました。(前年度要求時点は 18 億円)

市の財政構造は「歳出超過型」から「歳入不足型」へ一気にシフト。しかし、地道に査定作業を進めなければなりません。少しでも財源不足額を抑え、市民生活を守れるように・・・。

それでは、予算編成物語です。

家 長「予算要求は昨日締切りだったな。集計は出ているか？」

係 長「はい。一部暫定ですけど。昨日の夜の時点でやってあります。」

家 長 「どんな状況だ？」  
係 長 「え〜と、一般会計の歳出が 220 億円で・・・」  
家 長 「ちょっと待って。オレが一番知りたいのは・・・」  
係 長 「財源不足額でしょう。がっかりするのは最後でいいかと思ひまして。」  
家 長 「いいから、早く教えてくれ。(怒)」  
係 長 「22 億円ですかね。〇〇課が例によって追加有りですから、もう少し増えますね。」  
係 長 「じゃ 22 億 5 千万円ってとこか。まいったな。」

このままじゃどうあがいても予算が組めないの、いろいろ考えました。まず、一般財源の確保。市税と交付税など再計算だ。×(@ @)/留保している場合じゃない。

家 長 「市税もっと伸びない？ 税務課との調整はやってるか？」  
係 長 「12 月に 2 回目の打ち合わせ予定ですが。前年度比較で 5〜6 億円下がりそうですね。法人市民税の減収と固定資産税の評価替えの影響とダブルパンチです。」  
家 長 「交付税と臨時財政対策債はどうだ？」  
係 長 「まだ詳細が届きませんから概算ですけど、交付税は若干の減ですが、臨時財政対策債は 3 億円ぐらい上積みできますね。」  
家 長 「あれっ？ もっと伸びるんじゃないのか？」  
係 長 「県分が大きくて、市町村分はそんなに伸びないんですよ。」  
家 長 「またか。県のほうが法人関係収入の依存度が高いからな。」  
係 長 「歳入確保は限界に近いですね。歳出で何とかしないとダメですね。」  
家 長 「よ〜し、査定方針を発表する。みんなよく聞け！」

- ・福祉関係経費は 20 年度の実績で。伸びは見込まない。(見込めない(ToT))
- ・国の補正予算で対応できるものは全て前倒し(平成 20 年度補正)
- ・公共事業の大幅削減、一部は休止。とりあえず我慢。
- ・市債(借金)返済は平準化債を活用。繰上償還も忘れずに。
- ・職員にできることは職員でやる。
- ・塵芥や衛生など一部事務組合にもお願いして分担金を減らしてもらおう。
- ・特別職給与をはじめ、人件費の削減もお願いしてみよう。
- ・・・などあらゆる予算を総点検。

補 佐 「これだと財政家査定の範疇を超えますよね。」  
家 長 「他の家(企画調整課や人事課)はもちろん、本家のオヤジさん(市長)の了解も必要だ。それは、オレが調整やお願いをしてくるから、補佐は分家(一部事務組合・外郭団体)の調整を頼むよ。係長たちは査定作業と並行で、前倒し・先送り可能な事業を抽出してくれ。」  
補 佐 「頑張ってみますけど、親戚筋(一部事務組合構成市町村)の意見もありますし。」  
家 長 「どこも厳しいはずだから、大丈夫。さあ、頑張ろう！」

とは言ってみたものの、前途多難。最近は職員の皆さんの意識も変わり、最初から協力してもらっていることも多くあり、さらなる歳出削減で士気が低下しないだろうか？とも考えました。

でも職員が「考える」ことや「努力」はタダ。財政状況を職員全員、いや市民全員に理解してもらって、マンパワーを発揮してもらわなければならない。よろしくお願いします。〈( )〉

平成 21 年度は、将来都市像である「共によろこび 共に育てる 健康・教育都市」に向けた施策を軌道に乗せ、持続可能な財政基盤の確立へのステップとするはずだったけど、厳しい経済情勢が市の歳入環境を直撃し、「まずは市民生活を守ること」を優先した予算編成となりました。

当然ですが、日常の市民サービスの維持を最優先課題として、当初予算の査定調整に取り組みました。「緊縮型予算」となるなかでも、「将来への種」は少なからず蒔くことができたと考えています。この種を芽吹かせ、市民の皆さんとともに大きく育てて行きましょう。

また、並行して行っていた平成 20 年度 3 月補正予算の調製においても、法人市民税をはじめ譲与税などの大幅な下方修正が必要となり、平成 4 年度以来となる「減収補てん債」の発行も余儀なくされました。これは翌年度以降、交付税で精算される額を、前もって借り入れる制度ですが、この借り入れなくしては、財源調整ができなかったという厳しい現実にも直面しました。

○H21 年度予算の概要をお知らせします。

21 年度の予算総額は、約 345 億円。前年度に対して 4.9%の減。一般会計は、約 212 億円で 1.7%(3 億 6 千万円)減です。馴染小改築や総合運動公園建設が最終年度を迎え減少したことが大きな要因です。さらに 21 年度では市債などの繰上償還も見込んでいますので、これを除くと、約 203 億円で前年度より約 13 億円、6.0%減の「緊縮型予算」なっています。

予算総括表

(単位:千円, %)

会 計 別	平成21年度	平成20年度	比 較	増減率	
一 般 会 計	21,213,000	21,574,000	△361,000	△1.7	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	6,764,800	6,898,000	△133,200	△1.9
	公 共 下 水 道 事 業	2,429,500	3,577,000	△1,147,500	△32.1
	老 人 保 健 事 業	14,900	413,800	△398,900	△96.4
	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業	2	2	0	-
	農 業 集 落 排 水 事 業	54,350	51,100	3,250	6.4
	介 護 保 険 事 業	3,164,500	2,928,000	236,500	8.1
	介 護 サ ー ビ ス 事 業	0	22,200	△22,200	皆減
	障がい者自立支援サービス事業	30,500	43,100	△12,600	△29.2
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	860,500	819,000	41,500	5.1
	特 別 会 計 合 計	13,319,052	14,752,202	△1,433,150	△9.7
総 計	34,532,052	36,326,202	△1,794,150	△4.9	

詳しくは、「予算の概要」をホームページにアップしますが、ここでは新規・拡充事業を紹介し  
ます。

「少子化対策・子育て支援」では、またまた第3子以降のお子さんへの支援が充実。出産祝金  
10万円の支給開始をはじめ、保育料の助成拡大など大幅拡充。妊婦健康診査の公費負担も5  
回から14回に大幅アップ。これで妊娠期間に必要とされる健診はカバーできるはずで  
す。

「教育」では、小学校4年生以下の外国語活動(市独自事業)を盛り込んだ「子どもが主役！魅  
力ある学校づくり推進事業」や、個別指導・理科教育の充実を目指す「学習充実支援事業」な  
どを立ち上げました。

「安心・安全」では、地区の集会施設耐震補強事業、一般住宅耐震改修促進事業などを創設。  
特に高齢者住宅に配慮(市独自に単価上乘せ)した制度になっているほか、防災マップの全戸  
配布も予定しています。

「地域振興」では、住民自治組織などの自主的な活動を支援する「地域づくり交付金」の創設  
や、企業誘致奨励金、旅券発給事務費(21年6月から市役所でパスポートが受給できます。)な  
どを盛り込んだ予算となっています。

○一般会計を『龍ヶ崎家の家計』に例えてみました。

龍ヶ崎市の平成21年度一般会計予算の合計は約212億円です。このままでは、額が大き  
すぎてなかなか実感が湧きません。そこで、予算額を1/3,000にして、サラリーマン家庭の家計に  
おきかえてみました。

市民サービス株式会社で営業課長として頑張る龍ヶ崎さん。妻と子ども2人、両親の6人家族  
です。

龍ヶ崎家の収入は、世界的な金融危機による影響を受けて、お父さんの会社の収益が上  
がらず基本給(市税)は343万円、手当てがカットされるなど大幅ダウンの見込みです。(ToT)

ボーナス(地方交付税)も毎年下がっていて80万円です。同居している両親に生活費(国県  
支出金)として85万円もらっていますが、両親も厳しいようです。

それに、お母さんのパート収入(使用料、雑入など)も少し減って95万円、合計で603万円を  
見込んでいます。昨年に比べて32万円の減収です。

そこで、家族全員で話し合った結果、普段の生活費(総務費など)はさらに節約。来年こそはと  
楽しみにしていた温泉旅行も我慢です。

でも、高齢になった両親の介護サービス利用料や医療費(民生費)、ごみの処分や健康診断  
(衛生費)はさらにアップ、家計を圧迫しています。

教育費は、お姉ちゃんの高校の施設整備費納付金(教育施設整備事業)が減額されるので  
104万円。でも、子供たちの将来のため、学習塾の月謝や高校の学費は削減できない経費で  
す。

トイレとキッチンをリフォーム(土木費)する予定でしたがキッチンは我慢して、トイレだけをリ  
フォームすることにしたので49万円です。また、ローン支払いを軽減するために、金利の高い住宅  
ローンなどの借り換え、一部繰上償還をすることにしました。ローン支払(公債費)など一時的な

支払いは増えますが、低金利で借り換えできるので将来の支払いは少なくなります。これらの支出の合計は 707 万円となりました。

ここまでで不足する収入は 104 万円。お父さんの給料・手当での減少分は、会社保証のローンの借り入れで 33 万円(臨時財政対策債)、住宅ローンなどの借り換えとリフォームローンとで 40 万円借りることにしました。

この結果、ローン(市債)残高は 959 万円に増えてましたが、分割払い(都市再生機構立替金)の残高は減り、債務全体では減少しました。最終的な収入不足は預金を 31 万円解約(基金繰入)し、預金(基金)残高は 62 万円になってしまいました。

教育や介護にこれからまだまだお金がかかりますが、家族全員の協力で乗り切らなければなりません。頑張れ！龍ヶ崎家！！

まもなく、議会が始まりますが、今年は、「財政通信」をその前に発行することができました。皆さんに 20 年度予算執行でのさらなる協力をいただくために……。

20 年度の実質的な財源不足額はあと 6 億 5 千万円……みなさん、今一度、歳入歳出両面から総点検をお願いします。今は、昔と違って、「使い切り予算」ではなく、「予算は限度額」です。予算を使い切らなければダメではなくて、必要最小限の予算で予定していたことができれば目標達成です。そして余った予算が多いほど評価される時代です。

さて、今度は議会での予算説明。(隣の部長はもう勉強を始めたようです。)一般質問もでたようで……。

そして財政家員は、また忙しい時期に……。休む暇がありません。お酒に誘っても断られそうに声をかけることができません。(>\_<)市債の借り入れやら、決算見込みやら、財務会計システムの調整、執務スペースの配置変更など……。気の抜けない日々が続きます。みなさんも、体調に注意して年度末の繁忙期を乗り切ってください。皆さんの頑張りに期待しています。

次号では、平成 20 年度の決算見込みと財政の状況についてお知らせしたいと思います。

では、また次号で(^)/